

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画の趣旨

子どもの読書活動は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」であり、そのための環境を社会全体で積極的に整備していくことは極めて重要です。

しかしながら、インターネットやスマートフォン等の様々な情報メディアの発達・普及により子どもの生活環境は大きく変化し、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「活字離れ」や「読書離れ」が進行し、その影響が懸念されています。

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行となり、都道府県・市町村の役割として、子ども読書活動推進計画策定に努めることが明記されました。

これに伴い、北海道は平成15年11月に『北海道子どもの読書活動推進計画』、網走市は平成17年7月に『網走市子ども読書活動推進計画（通称「あばしり子ども読書プラン」）』を定め、それぞれ子どもの読書活動の推進を行うための基本計画を策定しました。

網走市のこの計画は平成21年度までの5か年としていたことから、その後、平成22年度から第2次、平成27年度から第3次プランを策定し、子どもの読書活動の推進や読書環境の整備を行ってきました。

第3次プランは平成31（令和元）年度をもって計画期間が満了となることから、新たに、子どもたちの読書環境の充実や読書活動の一層の推進を図るため、『第4次あばしり子ども読書プラン』を策定しようとするものです。

2. 計画の目的

この計画は、本市の子どもたちが読書活動をとおして豊かな感性や創造力をじっくり考え自ら判断する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じて読書に親しむ環境を整えていくことを目的として策定します。

3. 計画の対象

この計画は、網走市内の0歳から18歳（高校生）までの子どもを対象とします。また、子どもの読書活動の推進に関わる保護者をはじめ、市民ボランティア団体や地域住民、行政関係機関も対象となります。

4. 計画の期間

この計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間計画として策定します。

5. 計画の基本方向

この推進計画は、次の3項目を柱とし、子どもの読書活動の推進を目指します。

(1) 「みんなで読書」

子どもの読書は家庭や周囲の環境が大きく影響を及ぼすといわれ、子どもと共に周囲の人が読書することにより読書への興味や関心が芽生えます。家庭や地域を中心に、大人も子どもも「みんなで読書」ができる環境づくりを進めます。

(2) 「たのしく読書」

よみかせには、情緒の発達とともに想像力も豊かにする効果があります。また、子どもは本との出会いから言葉や文字を学び、感性や表現力などを培うといわれます。子育てや家庭教育の支援となるような「たのしく読書」ができる読書活動の推進を図ります。

(3) 「どこでも読書」

日常生活で子どもが読書に親しめるよう幼稚園・保育園・小、中、高校等での読書活動や図書館での本を読みやすい体制と利用しやすい環境を目指し、網走市民の読書活動を充実させます。また、身近な場所で「どこでも読書」ができる環境をつくり、子どもたちの読書機会の充実を図ります。

6. 計画の指標

この計画では、施策・事業の成果を計る客観的な目標として、次の指標を設定します。

(1) 1 か月に読んだ本の平均冊数

指 標	区 分	全国平均値 (令和元年) *〔1〕	令和26年 (前 回) *〔2〕	令和元年 (今 回) *〔2〕	目 標 (令和6年)
1 か月に読んだ本	小学生	11.3冊	5.0冊	5.4冊	いずれも 増加
	中学生	4.7冊	3.1冊	3.2冊	
	高校生	1.4冊	2.0冊	1.6冊	

(2) 1 か月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合

指 標	区 分	全国平均値 (令和元年) *〔1〕	令和26年 (前 回) *〔2〕	令和元年 (今 回) *〔2〕	目 標 (令和6年)
1 か月間の不読率	小学生	6.8%	13.2%	10.0%	いずれも 減少
	中学生	12.5%	23.5%	20.4%	
	高校生	55.3%	46.7%	58.4%	

(3) 学校での読書（朝読書・休み時間）実施校の割合

指 標	令和元年数値*〔2〕		令和6年目標	
読書実施校の割合	小学生	100%	小学生	100%
	中学生	100%	中学生	100%

Q *〔1〕 第65回学校読書調査によるデータ

令和元年6月に全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で、全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について調査したもの。

Q *〔2〕 子どもの読書活動に関するアンケート調査によるデータ

令和元年8月に市内の0歳から18歳までの子どもを対象としたアンケート調査を実施したもの。

第2章 あばしりの子どもの読書活動の現状

網走市では、「あばしり子ども読書プランⅣ」の策定にあたり、「網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査」を実施しました。アンケートは1次から3次プランの策定にあたり実施したアンケートと同じ内容で調査を行い、計画の事業効果をはかるものとなりました。

調査は令和元年8月に行い、定期健康診査等への参加乳幼児の保護者、幼稚園・保育園に通園している子どもの保護者、また小学校・中学校・高等学校（養護学校、日体大特別支援を含む）では学校を通じて児童や生徒への調査を行いました。幼稚園・保育園等の16園では、園としての取り組み状況アンケートも実施しました。

アンケート回答数 3,792名

1. 小・中・高校生の読書について

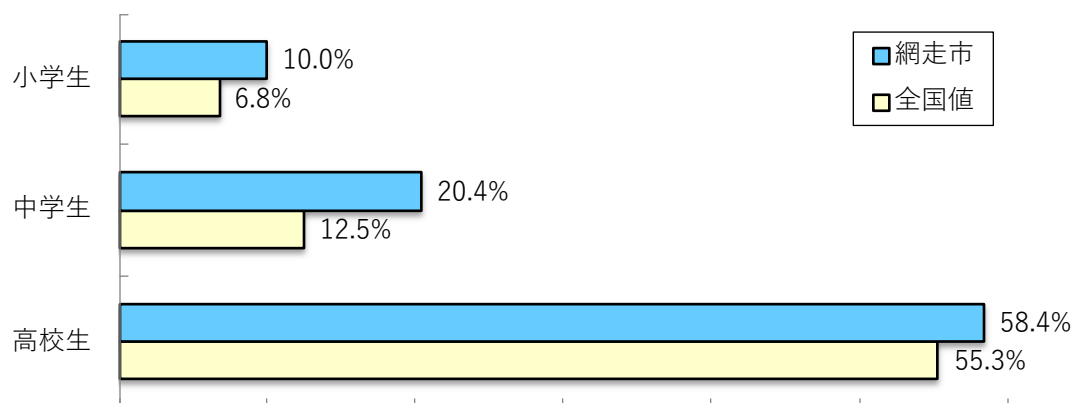
(1) 読書量について

令和元年5月を対象に実施された第65回学校読書調査*1のデータによると、1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合は小学生が全体の6.8%、中学生が12.5%、高校生が55.3%となっています。

今回行った「あばしり子どもの読書活動に関するアンケート調査」では、1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合は小学生が10.0%、中学生が20.4%、高校生が58.4%となっており、小学生、中学生、高校生ともに全国的な傾向に比べて本を読まなかった子の割合が多い結果になりました。

Q *1 第65回学校読書調査

令和元年6月に全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で、全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について調査したもの。全項目の結果と分析は機関誌『学校図書館』令和元年11月号に掲載。また、詳細なデータは、令和2年4月発行の『読書世論調査 2020年版』（毎日新聞刊）に掲載。



【1 か月に 1 冊も本を読まなかった子どもの割合（不読率）】

網走市：網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査（令和元年 8 月）

全国値：第 65 回学校読書調査（令和元年 5 月）

① 1 か月に 1 冊も本を読んでいない児童・生徒（不読率）について

○ 小学生

1 か月に 1 冊も本を読んでいない児童は 10.0 %でした。読んでいない理由としては、「ほかにやりたいことがある（30.8 %）」、「どんな本を読めばいいのかわからない（29.4 %）」、「本を読むのがきらいだから（28.7 %）」という回答結果になりました。

読んでいない理由（複数回答）	率（%）
ほかにやりたいことがある	30.8
どんな本を読めばいいのかわからないから	29.4
本を読むのがきらいだから	28.7
読みたいと思う本が身近にない	21.7
勉強や習い事に、塾などが忙しく読む時間がない	21.0
その他	4.2

○ 中学生

1 か月に 1 冊も本を読んでいない生徒は 20.4 %でした。読んでいない理由としては、「ほかにやりたいことがある（50.6 %）」、「本を読むのがきらいだから（40.5 %）」、「読みたいと思う本が身近にない（32.3 %）」

という回答結果になりました。

読んでいない理由（複数回答）	率（％）
ほかにやりたいことがある	50.6
本を読むのがきらいだから	40.5
読みたいと思う本が身近にない	32.3
勉強や習い事に、塾などが忙しく読む時間がない	24.7
どんな本を読めばいいのかわからないから	9.5
その他	10.1

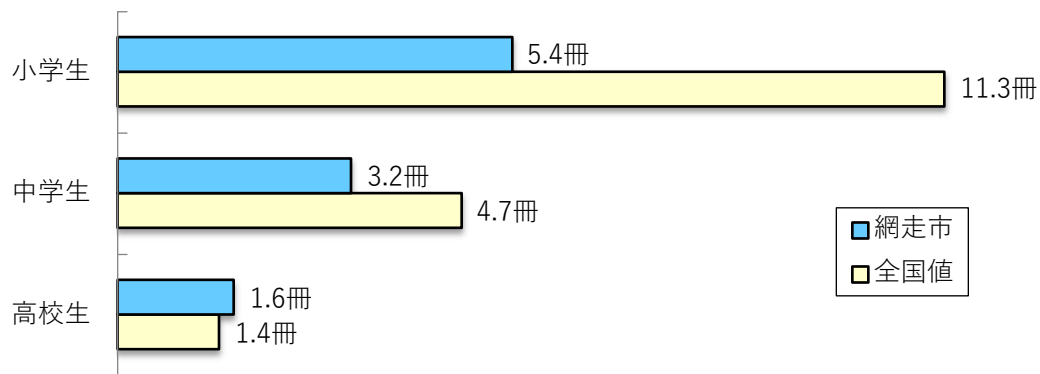
○ 高校生

1 か月に1冊も本を読んでいない生徒は 58.4 ％でした。読んでいない理由としては、「ほかにやりたいことがある（43.8 ％）」、「読みたいと思う本が身近にない（30.8 ％）」、「勉強や習い事に、塾などが忙しく読む時間がない（26.6 ％）」という回答結果になりました。

読んでいない理由（複数回答）	率（％）
ほかにやりたいことがある	43.8
読みたいと思う本が身近にない	30.8
勉強や習い事に、塾などが忙しく読む時間がない	26.6
本を読むのがきらいだから	17.4
どんな本を読めばいいのかわからないから	7.0
その他	3.3

② 1 か月に読む本の平均冊数

1 か月に読む本の平均冊数は、小学生が5.4冊、中学生は3.2冊と全国値を下回りましたが、高校生は1.6冊と、全国値より若干ですが多くなっています。



【1 か月に読む本の平均冊数】

網走市：網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査（令和元年8月）

全国値：第65回学校読書調査（令和元年5月）

（2）読書環境について

「あなたは主にどこで本を読んでいますか」

小学生、中学生、高校生とも「自分の家で」が最も多い回答で、次いで「学校の図書館や教室で」という結果になりました。学校図書館司書の配置による図書室の利用増加や、教職員の連携も充実しており、学校や家庭での読書習慣が定着しつつあります。

単位：％

場 所	小学生	中学生	高校生
自分の家で	75.7	67.0	81.3
学校の図書館や教室	72.0	65.9	11.0
友達の家で	6.5	3.5	1.6
市の図書館で	25.5	8.1	8.5
児童館の分庫で	16.6	0.4	0.2
バスや汽車の中で	10.0	5.9	5.1
その他	0.8	4.5	2.9

（3）読書の傾向について

① 「あなたは、どのようにして自分で読む本を選びますか」

小学生は「学校の図書室にある本を選んで読む」、「教室にある本を選んで読む」、「書店で選んで買って読む」となっており、中学生では「書店で

選んで買って読む」、「教室にある本を選んで読む」、「友だちが『おもしろいよ』と教えてくれた本を読む」の順番となっています。高校生では「書店で選んで買って読む」、「友だちが『おもしろいよ』と教えてくれた本を読む」、「テレビや雑誌で紹介している本に興味を持って読む」となっています。

単位：％

どのようにして自分で読む本を選びますか	小学生	中学生	高校生
書店で選んで買って読む	45.0	70.5	73.1
学校の図書室にある本を選んで読む	65.4	36.3	7.2
教室にある本を選んで読む	51.2	10.1	0.8
市の図書館や分庫に行って選んで借りて読む	33.3	13.0	12.8
親などが選んですすめてくれた本を読む	25.9	14.5	6.4
友だちが「おもしろいよ」と教えてくれた本を読む	25.0	24.0	23.9
テレビや雑誌で紹介している本に興味を持って読む	14.5	14.8	20.6
その他	2.3	7.4	3.3

②「あなたはどんな内容の本が好きですか」

小学生は「まんが（コミック・週刊誌などを含む）」、「小説（物語・童話など）」、「絵本」の順番になっており、中学生・高校生では「小説（物語・童話など）」、「まんが（コミック・週刊誌などを含む）」、「実用書（趣味・スポーツなど）」となっています。どの年代も一番読まれているのは「まんが（コミック・週刊誌などを含む）」です。

単位：％

どんな内容の本が好きですか	小学生	中学生	高校生
絵本	44.0	11.6	6.7
小説（物語・童話など）	47.1	63.6	60.2
ドキュメント・ルポタージュ	31.8	15.5	13.4
科学もの（恐竜、病気など）	33.0	9.4	5.8
実用書（趣味、スポーツなど）	34.0	17.7	18.3
まんが（コミック、週刊誌）	58.9	59.4	57.8
その他	9.6	5.8	3.1

(4) 読書の位置付けについて

「どういう時に本を読みたいと思いますか」

小学生・中学生・高校生とも「ひまで何もすることがないとき」が最も多い回答でした。

全世代を通して「映画やテレビドラマなどを見て、本で書かれているもの（原作）を読んでみたいと思ったとき」という回答が30%近くあり、「困ったことや悩み事などがあつたとき」や「進路、進学、生き方を考える参考に」のための読書は少数で、積極的に読書をするよりも何もすることが無いときの時間の過ごし方のひとつとなっています。

単位：％

どういう時に本を読みたいと思いますか	小学生	中学生	高校生
わからないことがあって本でしらべようと思ったとき	34.3	17.4	12.0
映画やテレビドラマの原作を読んでみたいと思ったとき	28.3	37.4	34.2
ひまで何もすることがないとき	74.0	61.8	55.8
床屋、通学時のバスなどで、待ち時間があるとき	27.1	17.7	12.8
困ったことや悩み事などがあつたとき	12.8	5.5	5.5
自分の趣味や研究を深めようと思ったとき	26.7	19.0	18.6
進路、進学、生き方を考える参考に	12.3	6.1	8.5
その他	3.8	8.6	5.3

2. 幼稚園・保育園・認定こども園等におけるよみきかせについて

幼稚園、保育園、認定こども園等でのよみきかせについて調査したところ、幼稚園、保育園、認定こども園等すべてで1日1回以上または1週間に数回の「よみきかせ」の時間をとっており、定着していることがわかりました。

また、1回の「よみきかせ」の時間は、15分以内の園が75%、30分以内の園は19%でした。

読み手としては全ての園で職員が行っており、保護者やボランティアに参加していただいている園もありました。

「よみきかせに必要な本はどのように確保していますか」という問いには、

全園が「園（センター）で購入」と答え、次に「図書館から借りる」という回答でした。

「よみきかせ以外の読書活動について」聞いたところ、「子どもたちが自分で選び読めるように配慮」、「パネルシアター」、「エプロンシアター」という活動が記述されました。

「読書活動を進める上での問題点や日頃考えていること」について聞いたところ、「興味が持てるような絵本やひきつけるような導入を心掛けている」、「集中できる環境や興味を持てる絵本選び」という感想意見がありました。また、「絵本選びの選択肢が少なく、難しさを感じる」、「家庭で絵本に触れる機会が減ってきているように思う」、「集中できない子がいる」など悩みの記述もありました。

3. 就学前の子どもの読書について

乳児や幼児を育てる保護者の読書活動に関する現状を知るため、市内の幼稚園と保育園、認定こども園の協力を得て保護者のアンケート調査を実施しました。また、保健センターで実施している8か月児健康相談と1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の参加保護者へのアンケート調査も行いました。

① 「あなたのお子さまに1か月平均何冊の本を読んであげていますか」

「読んであげていない」が12.6%、「1～2冊」が31.3%、「3～4冊」が21.5%という結果になりました。

1か月平均何冊の本を読んであげていますか	率(%)
読んであげていない	12.6
1冊～2冊	31.3
3冊～4冊	21.5
5冊～10冊	16.6
11冊以上	18.0

② 「読んであげていない」理由

「家事や仕事で読んであげる時間がとれないから」、「読み聞かせが不得意だから」などの回答がありました。

読んであげていない理由	率(%)
本を読むのがきらいだから	5.3
子どもが本を理解する年齢ではないと思う	5.3
どんな本を読めばいいのかわからないから	8.0
ほかにやりたいことがあるから	5.3
テレビやビデオで物語や童話を見せているから	2.7
読み聞かせが不得意だから	10.7
家事や仕事で時間がとれないから	60.0
その他	29.3

③ 「あなたは主にどこで本を読んであげていますか」

「自分の家で」が 91.1 %、「市の図書館や分庫で」が 10.9 %という回答がありました。

場 所	率(%)
自分の家で	91.1
図書館や分庫で	10.9
児童館分庫で	0.2
バスや車で	3.2
その他	7.2

④ 「あなたは、お子さまへの本をどのようにして選びますか」

「書店で選んで買って読む」が 65.2 %、「テレビやラジオ、新聞、雑誌などで紹介している本に興味をもって」が 41.8 %、「市の図書館や分庫に行って」が 26.6 %と答えています。

お子さまへの本をどのようにして選びますか	率(%)
書店で選んで買って読む	65.2
幼稚園、保育園などから薦められて	11.4
市の図書館や分庫に行って	26.6
市の図書館や図書案内や司書に相談して	2.9
友人などに薦められて	7.6
テレビやラジオなどで紹介している本に興味をもって	41.8
その他	14.6

⑤ 「あなたご自身は1か月平均何冊の本を読みますか」

保護者自身の読書量について聞いたところ、「読んでいない」が63.7%と、全体の半数以上を占めました。

「読んでいない」理由についてたずねたところ、「子育てや家事、仕事が忙しくて読書の時間がとれないから」が51.9%で最も多く、次いで「ほかにやりたいことがあるから」が19.2%となっています。

読んでいない理由	率(%)
本を読むのがきらいだから	6.2
子育てや家事に忙しくて読書の時間がとれないから	51.9
どんな本がおもしろいかわからないから	5.5
ほかにやりたいことがあるから	19.2
読みたいと思う本が身近にないから	6.7
その他	2.0

⑥ 「お子さまの成長に読書はどのような効果があると思いますか」

「想像力や感性を育てる」、「表現力や創造性を育てる」、「読解力を養う」、「知識を豊富にする」が多く、「読書する必要性は感じていない」、「スポーツや音楽などの習い事の方が成長に大切だ」との回答はわずかでした。

成長に読書はどのような効果があると思いますか	率(%)
想像力や感性を育てる	86.4
表現力や創造性を育てる	66.4
読解力を養う	70.4
知識を豊富にする	70.4
読書する必要性は感じていない	1.0
スポーツや音楽などの習い事のほうが成長に大切だ	0.3
どのような効果があるかわからない	2.7
その他	2.2

⑦ 「お子さまがテレビやDVDを見ている時間は1日平均どのくらいですか」

「2時間程度」が一番多く48.9%、次いで「3時間程度」が20.8%、「1時間以内」が19.0%、「3時間以上」が9.6%となっています。

「見せていない」は1.7%でした。

第3章 第3次子ども読書プラン推進の評価

1. 第3次子ども読書プラン推進のための方策

平成27年度から平成31（令和元）年度を期間とする第3次あばしり子ども読書プランでは、第1次・2次プランの方策を引き継ぎ、「みんなで読書」「たのしく読書」「どこでも読書」の3方策を軸に計画を推進しました。

第3次プランの方策と重点的に実施を行う施策としては次のものがありました。

方策1「みんなで読書」

- (1) 市民みんなで子どもの読書活動を推進
 - ① ボランティア活動支援
 - ② 子どもの読書活動支援
 - ③ 家庭での読書活動支援
- (2) 大人の読書活動を推進
 - ① 魅力ある図書館づくり
- (3) 読書活動に関する情報提供を促進
 - ① 市民活動に読書活動への理解を広げる

方策2「たのしく読書」

- (1) 幼稚園・保育園等での読書活動を支援
 - ① 読書活動で心豊かな子どもを育てる
- (2) 学校での読書活動推進
 - ① 本との楽しい出会いづくり
 - ② 学校図書館の整備・充実

方策3「どこでも読書」

- (1) 家庭・地域における子どもの読書活動推進
 - ① 保護者に家庭での読書の楽しさ・大切さを伝える
 - ② 子どもがいつでも読書活動ができる場の提供
- (2) 図書館における子どもの読書活動を推進

- ① 市立図書館の機能を活かした読書活動の推進
- ② 子どもが利用しやすい図書館づくり
- ③ 大人も子どもも楽しく読書する環境づくり

2. 第3次子ども読書プラン実施状況と評価

(1) 「みんなで読書」

ブックスタート*₂やゼロ歳児へのよみきかせ*₃により、絵本や児童書の貸出数が増えており、事業の効果とみられます。

よみきかせ会は、図書館内外や市内小学校で多く行われています。

読書相談、レファレンス*₄は、図書館窓口や電話で随時対応しているものの、子どもからの相談は少ない状況であることから、パンフレット等の周知方法に工夫が求められています。

児童館・分庫などの読書環境整備では、利用拡大のため今後とも関係団体と図書館との連携および周知PRが必要です。

○ ブックスタート事業実績（実施者数／対象者数）

H27：234名/281名 H28：230名/251名 H29：215名/250名
H30：199名/227名 R01：152名/187名 計：1,030名/1,196名

○ ゼロ歳からのおやこで楽しむよみきかせ実績（参加者数／実施回数）

H27：73名/12回 H28：123名/12回 H29：105名/12回
H30：125名/12回 R01：74名/11回 計：500名/59回

Q*₂ ブックスタート

家庭における子どもの読書活動の推進のため、乳幼児期から絵本と触れ合うための機会を保護者に提供する事業。当市では平成23年度より開始し、4か月児健康診査の際に絵本2冊をプレゼントし、あわせてパンフレットの配付や、赤ちゃんの名前でのかしだしカードの作成の働きかけなどを行っている。

Q*₃ ゼロ歳児へのよみきかせ

ブックスタートの際に図書館の利用を働きかけた赤ちゃんと保護者に向け、図書館デビューをサポートするための読み聞かせ会。平成23年度より毎月第3水曜日に実施している。

Q*₄ レファレンス

図書や読書に関すること、日常生活に関する情報、郷土史に関することなど、図書資料を使って調べられることについて、図書館職員が回答したり必要な情報源を紹介したりするサービス。

○ 一日図書館員体験実績

H27：11名 H28：7名 H29：24名（低学年の体験を開始）

H30：32名 R01：28名 計：102名

○ えほんのもりよみきかせ会実績（参加者数／実施回数）

H27：555名/47回 H28：451名/49回 H29：341名/50回

H30：554名/49回 R01：439名/44回 計：2,340名/239回

○ 子育て支援センターよみきかせ実績（参加者数／実施回数）

H27：68名/3回 H28：58名/3回 H29：69名/3回

H30：68名/4回 R01：57名/3回 計：320名/16回

○ レファレンス実績

H27：111件 H28：78件 H29：184件 H30：332件

R01：204件 計：909件

(2) 「たのしく読書」

幼稚園、保育園、学校等では、これまで同様に図書館の団体貸出制度*5を積極的に活用し、読書環境の充実を図ってきました。

クリオネ文庫*6は、市内小学校の全クラスに配置し、小学校での読書活動の充実につながっています。

学校図書館の蔵書資料については、4名の学校図書館司書が配置され、学校の巡回を行い、図書館資料の更新が積極的に進められています。また、学校図書館連携会議の開催により、市立図書館との連携を図っています。

○ 団体貸出制度実績（学校貸出回数／全体回数）

H27：212回/500回 H28：226回/1,784回 H29：287回/1,866回

H30：335回/2,219回 R01：296回/2,043回 計：1,356回/8,412回

○ ブックトーク事業実績（参加人数／クラス数）

H27：429名/14クラス H28：393名/13クラス H29：未実施

H30：85名/5クラス R01：261名/11クラス

Q*5 団体貸出制度

保育園や幼稚園、学校・学級、福祉施設等の地域・職域等の市民の団体に対し貸出する制度。貸出点数は図書資料が300冊以内、視聴覚資料は5点以内。貸出期間は1か月以内。

Q*6 クリオネ文庫（学校巡回図書）

学校生活でより多くの本に自由に親しんでもらうため、市内全小学校の各学級に30冊を配置し、おおむね月ごとに巡回させる事業。

○ クリオネ文庫実績（児童書冊数／学級数）

H27：3,510冊/75学級 H28：3,480冊/75学級 H29：3,600冊/74学級

H30：3,480冊/77学級 R01：3,480冊/70学級

(3) 「どこでも読書」

図書館では、子どもが気軽に利用できるよう、定期的なイベントや学習展示を開催し、本と親しむきっかけづくりに取り組んできました。しかしながら、今までどおりの広報やHPの掲載、ポスター掲示等による周知方法では、利用者に十分な周知がされていないと思われることから、今後もさらなる工夫が求められる状況にあります。

○ 図書館まつり開催実績

・ 古本市来場者数

H27：800名 H28：620名 H29：413名 H30：409名 R01：334名

・ 子ども俳句・短歌大会応募数

H27：1,716点 H28：1,662点 H29：1,662点

H30：1,306点 R01：1,423点

・ お楽しみ会スペシャル「人形劇公演」来場者数

H27：200名 H28：181名 H29：184名 H30：215名 R01：148名

第3次網走市子どもの読書活動推進計画事業実施結果一覧

【1. みんなで読書】

(1) 市民みんなで子どもの読書活動を推進

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① ボランティア活動支援			
ボランティアと協力した読書の普及活動支援	地域ボランティアの協力によるよみきかせ会の実施	継続実施中	ボランティア団体・図書館
ボランティアの育成事業	朗読講習会、布絵本講習会、よみきかせ講習会の開催	継続実施中	ボランティア団体・図書館
② 子どもの読書活動支援			
子どもの読書の理解を深める事業	ブックスタート事業実施 (平成23年度から)	実施率は90%と好評である。	保健センター・図書館
	ゼロ歳児へのよみきかせ実施 (平成23年度から)	毎月一定数の参加があり好評である。	図書館
	一日図書館員体験を実施	特に低学年の応募が多く、好評である。	図書館
	読書感想文コンクール実施	継続実施中	学校・学校教育課
よみきかせ会の充実	図書館「えほんのもり」で毎週土曜日実施	毎回一定数の参加者で好評である。	ボランティア団体・図書館
	子育て支援センターで実施	ボランティア団体や園児保護者、図書館と分担し実施。	子育て支援課・図書館
	市内小学校でPTA等ボランティアによる実施	小学校にPTAサークルがあり活動中。	ボランティア団体・学校教育課
児童館・分庫等の読書環境整備	図書資料の定期的な入替と利用啓発を実施	年2回の入替と整備を実施中。	子育て支援課・市民活動推進課・図書館
地域の関係施設や団体との連携	市内コミセンと連携し読書活動の啓発を検討	読書環境整備の要望を随時検討。	市民活動推進課・図書館
	市立図書館とオホーツク管内3大学との相互貸借を実施	継続実施中	管内3大学・図書館
高校との連携	市内4高校の連続企画展を実施 (平成28年度から)	来館者にも好評であり今後も継続実施。	高校・図書館
書店との連絡・連携	書店と図書館が連携し、子どもたちへの優良図書の推奨PRを検討	未実施	書店・図書館
読書ノート事業	読書ノートの配布 (平成27年度から)	今後も利用拡大のための周知が必要。	図書館
選書ブックバック事業	絵本ブック事業実施 (平成27年度から)	利用者からかなりの好評である。	図書館

③ 家庭での読書活動支援			
家庭での読書を支援するための各種講習会	よみきかせ講習会等の開催を検討	令和元年度実施	図書館
読書相談・レファレンスの充実	図書館窓口・電話で随時対応を実施	今後も利用拡大のための周知が必要。	図書館
親子による図書館利用の促進	図書館本館の蔵書整備を実施	今後も蔵書整備を継続実施。	図書館
	児童館設置以外の分庫に一般書と児童書の配置を実施	今後も蔵書整備を継続実施。	市民活動推進課・図書館
幼稚園や保育園による家庭への読書支援	絵本等の貸出実施（一部の園）	一部の園で実施中	幼稚園・保育園

(2) 大人の読書活動を推進

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① 魅力ある図書館づくり			
魅力ある資料の収集	市民の学習要求や課題に対応した資料整備の実施	購入資料の厳選、寄贈資料の活用に努めている。	図書館
高齢者や障がい者への読書活動支援	高齢者や障がい者への読書サービス実施	高齢者や障がい者への読書環境整備を実施。	図書館
図書館ホームページを活用した読書推進サービス	図書館のおススメ本の紹介等、ホームページを活用したサービスを実施	実施中	図書館

(3) 読書活動に関する情報提供を促進

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① 市民活動に読書活動への理解を広げる			
図書館の利用や読書を行うための情報の提供	市広報、ホームページ、図書館だよりによる情報提供実施	実施中	図書館
	図書館ホームページへ蔵書目録の公開を実施	継続実施中	図書館
読書活動に関する情報提供	読書活動サークルや団体に情報を提供しながら、活動支援を実施	実施中	図書館

【2. たのしく読書】

(1) 幼稚園・保育園等での読書活動を支援

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① 読書活動で心豊かな子どもを育てる			
よみきかせ	幼稚園・保育園での実施	ほぼ毎日実施。	幼稚園・保育園等
	子育て支援センターでの実施	継続実施中	図書館
	児童館での夏、冬休み期間中の実施	継続実施中	図書館
団体貸出制度の利活用の促進	団体貸出制度の利活用を促進し、読書活動支援を実施	実施中	幼稚園・保育園等・図書館

(2) 学校での読書活動推進

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① 本との楽しい出会いづくり			
学校における読書活動の推進	10分間読書（朝読、休み時間）、学校読書週間の実施	継続実施中	学校・学校教育課
図書館と学校の連携	学校図書館担当者と市立図書館の連携会議を実施	毎年実施	学校・学校教育課・図書館
	講師を招いて講習会を実施	毎年実施	学校・学校教育課・図書館
	ブックトーク*7事業を実施	児童に好評の事業である。	学校・学校教育課・図書館
ボランティアと協力した読書の普及活動	P T Aやボランティア団体による読み聞かせ、人形劇等を実施	多くのボランティアの協力がある。	ボランティア団体・学校
クリオネ文庫（学校巡回図書）	市内小学校全クラスへ配本を実施	好評で喜ばれて活用されている	学校・図書館
団体貸出制度の利活用の促進	団体貸出制度の利活用を促進し、読書活動支援を実施	実施中	学校・図書館

Q*7 ブックトーク

一つのテーマをもとに、様々なジャンルから対象のグレードを考慮して何冊かの本を紹介する教育方法の一つ。あらすじを語ったり、一章を読んだり、写真や挿絵を見せたりしながら、紹介の仕方に変化をつけヤマ場をつくり、子どもたちに個々に本の魅力を伝える。

（「図書館ハンドブック第5版」（日本図書館協会）より）

② 学校図書館の整備・充実			
学校における読書活動の充実	学校図書館司書の配置、増員の検討	4名配置。 (平成29年度に3名から4名)	学校・ 学校教育課
学校図書館の蔵書資料の充実	計画的に資料を更新	文科省基準を満たすべく更新中。	学校・ 学校教育課
学校図書館の環境整備	P T Aや地域ボランティアの協力による学校図書館の環境整備を実施	多くのボランティアの協力がある。	ボランティア団体・ 学校

【3. どこでも読書】

(1) 家庭・地域における子どもの読書活動推進

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① 保護者に家庭での読書の楽しさ・大切さを伝える			
家庭教育支援事業との連携と協力	子どもと読書の大切さのP R等を家庭教育支援の各事業で実施	親と子のふれあい教室「絵本とともだちになろう」講座等を実施	社会教育課
社会教育課主催事業との連携と協力	子どもと読書の大切さ、本の楽しさのP R等を各事業で実施	継続実施中	社会教育課
② 子どもがいつでも読書活動ができる場の提供			
地域分庫や児童館分庫の整備と充実	毎年入替を実施 分庫だよりの配布を実施	継続実施中	子育て支援課・ 市民活動推進課・ 図書館

(2) 図書館における子どもの読書活動を推進

計 画 事 業	実 施 内 容	評 価	実 施 主 体
① 市立図書館の機能を活かした読書活動の推進			
蔵書の充実と展示・配架の工夫	学習要求や課題に対応するため蔵書を充実し、適切な配架を実施	今後も読書環境整備を実施。	図書館
おすすめP O P事業	一日図書館員や職場体験で児童、生徒がおススメ本のP O Pを作成し、図書館での展示を実施	一日図書館員、職場体験の際に実施	図書館

レファレンスやパスファインダー*8の充実	読書や学習へのサポートを充実し、読書への興味と関心を高める対応を実施	継続実施中	図書館
	タブレットP Cの館内貸出を実施	実施中	図書館
	保護者や関係者が活用できるよう、パスファインダーを検討	実施に向けた検討が必要。	図書館
ふるさと学習支援事業	ふるさと網走に関する資料の展示等による紹介を実施	年4回継続実施中	図書館
幼稚園・保育園などとの連携	子ども向け行事を今後検討	子ども向けの行事に随時参加を呼び掛けしている。	図書館
② 子どもが利用しやすい図書館づくり			
こどもの読書週間や図書館まつりにおける子ども向け行事	こどもの読書週間に読書に親しむ機会の充実と読書活動啓発事業を実施	毎年、利用拡大に向けた工夫を行い好評である。	図書館
	図書館まつりの俳句・短歌大会など子ども参加型事業を実施	毎年、多くの作品募集がある。	図書館
ボランティアと協力した読書の普及活動	図書館におけるよみきかせ会やイベントのボランティアの協力による実施	多くのボランティアの協力がある。	ボランティア団体・図書館
小・中学生向けPR誌事業	夏休み前などに図書館利用案内やおススメ図書を記載したチラシを作成し、配布を実施	継続実施中	学校・図書館
③ 大人も子どもも楽しく読書する環境づくり			
関係機関との連携による読書環境の整備	道立図書館、近隣図書館、大学との連携協力により実施	相互貸借を活用	図書館
地域分庫の整備	図書館からの遠隔地に住む市民のため地域分庫の整備を実施	今後も読書環境整備を実施。	図書館

Q*8 パスファインダー

特定のテーマについて調べものをする際、基礎資料の一部や調べ方を紹介した手引きのこと。

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

1. みんなで読書

(1) 市民みんなで子どもの読書活動を推進

少子高齢化社会にあっては、地域のいろいろな場所で読書活動が行われることが望ましく、地域全体が子どもたちを支援する役割を担っています。

このため、市民がそれぞれの立場からできることを支援していくことが大切であることから、地域で読書ボランティア活動を進める団体を支援し、よみきかせ等のボランティア育成事業を行います。子どもの読書活動を直接支援する事業の継続や児童館・地域分庫での読書環境整備、地域関係団体や高校と連携した事業を行います。家庭での読書活動支援として読書相談や親子による図書館利用を促進し、幼稚園・保育園などによる家庭読書支援も引き続き実施していきます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
ブックスタート事業	ブックスタート (0歳児へ絵本をプレゼント)	保健センター・図書館
	セカンドブックへの取組み検討 (3歳児へ絵本をプレゼント)	保健センター・図書館
	ゼロ歳児へのよみきかせ	図書館
子どもの読書の理解を深める事業	一日図書館員体験	図書館
	読書感想文コンクール	学校・学校教育課
よみきかせ会	「えほんのもり」でのよみきかせ	ボランティア団体・図書館
	子育て支援センターでのよみきかせ	子育て支援課・図書館
	市内小学校でPTA等ボランティアによるよみきかせ	ボランティア団体・図書館
児童館・分庫等の読書環境整備	図書資料の定期的な入替と利用啓発	子育て支援課・市民活動推進課・図書館
地域の関係施設や団体との連携	市立図書館とオホーツク管内3大学との相互貸借	管内3大学・図書館
高校との連携	市内高校の連続企画展	高校・図書館

読書ノート事業	読んだ図書の記録を残すことで本に親しみ、読書意欲の向上を喚起	図書館
絵本ブックバック事業	子どもの年齢に適した本を選書し、セットにして貸出を行う。	図書館
家庭での読書を支援するための各種講習会	子育て世帯の保護者向けの「よみきかせ講座」を開催	図書館
読書相談・レファレンスの充実	図書館窓口・電話で随時対応	図書館
親子による図書館利用の促進	図書館本館の蔵書整備	図書館
	児童館設置以外の分庫に一般書と児童書を配置	市民活動推進課・図書館
幼稚園や保育園による家庭への読書支援	絵本等の貸出	幼稚園・保育園
ボランティアの育成事業	朗読講習会、布絵本づくり講座、よみきかせ講座の開催	ボランティア団体・図書館

(2) 大人の読書活動を推進

本が好きな子どもを育てるには、本が好きな大人が周りにいることが大切です。このため、市民全体の読書活動を促進するために、市立図書館では魅力ある図書館づくりを行い、様々なサービスの充実に努めていきます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
魅力ある資料の収集	市民の学習要求や課題に対応した資料整備	図書館
高齢者や障がい者への読書活動支援	高齢者や障がい者への読書サービス	図書館
図書館ホームページを活用した読書推進サービス	図書館からのおススメ本の紹介等、ホームページを活用したサービス	図書館
おとなの読書手帳	大人も読んだ本を記録し、振り返ることで、読書意欲の向上や家族での話題づくりへつなげる	図書館

(3) 読書活動に関する情報提供を推進

市の広報紙や図書館だより、ホームページなどを媒体に読書活動に関するPRに努め、市民に読書活動への理解を広げていきます。

また、読書活動のボランティアを行っている市民には情報提供を行い、活動を支援していきます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
図書館の利用や読書を行うための情報の提供	市広報、ホームページ、図書館だよりによる情報提供	図書館
	図書館ホームページへ蔵書目録を公開	図書館
読書活動に関する情報提供	読書活動サークルや団体に情報を提供しながら活動を支援	図書館

2. たのしく読書

(1) 幼稚園・保育園等での読書活動を推進

幼稚園・保育園等でのよみきかせは、子どもたちに感動を与え、将来にわたる読書活動の源となります。保護者に対し日々の関わりの中でよみきかせの大切さを伝え、心豊かな子どもを育てます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
よみきかせ	幼稚園・保育園でのよみきかせ実施	幼稚園・保育園等
	子育て支援センターでのよみきかせ実施	図書館
	児童館での夏、冬休み期間中のよみきかせ実施	図書館
団体貸出制度の利活用の促進	団体貸出制度の利活用を促進し、読書活動を支援	幼稚園・保育園等・図書館

(2) 学校での読書活動を推進

学校図書館は、各教科や総合的な学習などで、読書活動や調べ学習など多様な目的で活用されています。また、10分間読書なども各小中学校で実施され、学校全体で読書が習慣化され定着しています。

これらの読書・学習活動をさらに充実させるために、利用しやすい学校図書館の環境整備や、市立図書館と連携し、多様な資料を提供することが望まれます。

具体的には、ボランティア団体と学校との連携による読書の普及活動や、クリオネ文庫、ブックトーク事業、団体貸出制度の利活用により、本との楽しい出会いをつくります。

また、学校図書館司書の巡回や蔵書資料の計画的な更新を進めていきます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
学校における読書活動の推進	10分間読書（朝読、休み時間）、学校読書週間の開催	学校・学校教育課
図書館と学校の連携	学校図書館担当者と市立図書館の連携会議を開催	学校・学校教育課・図書館
	講師を招いて講習会を開催	学校・学校教育課・図書館
	ブックトーク事業を開催	学校・学校教育課・図書館
ボランティアと協力した読書の普及活動	P T A やボランティア団体による読み聞かせ、人形劇等を開催	ボランティア団体・学校
クリオネ文庫（学校巡回図書）	市内小学校全クラスへ配本	学校・図書館
団体貸出制度の利活用の促進	団体貸出制度の利活用を促進し、読書活動を支援	学校・図書館
学校における読書活動の充実	学校図書館司書の市内小中学校への定期的な巡回	学校・学校教育課
学校図書館の蔵書資料の充実	計画的に資料を更新	学校・学校教育課
学校図書館の環境整備	P T A や地域ボランティアの協力による学校図書館の環境整備	ボランティア団体・学校

3. どこでも読書

(1) 家庭・地域における子どもの読書活動を推進します

子どもたちが本の楽しさを知り、読書する習慣を身につけるには、日常生活の中で本に親しむ環境をつくることが大切です。子どもたちがより多くの本に出会う機会をつくることで、本に親しみ、読書する習慣へとつながるため、保護者に家庭での読書の楽しさ・大切さを伝えます。

また、学校図書館以外で子どもたちがいつでもどこでも読書活動ができる場を提供するため、地域分庫や児童館分庫の整備を促進し、充実させていきます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
家庭教育支援事業との連携と協力	子どもと読書の大切さのPR等を家庭教育支援の各事業で開催	社会教育課
社会教育課主催事業との連携と協力	子どもと読書の大切さ、本の楽しさのPR等を各事業で開催	社会教育課
地域分庫や児童館分庫の整備と充実	定期的な図書の更新 分庫だよりの配布	子育て支援課・ 市民活動推進課・ 図書館

(2) 図書館における子どもの読書活動を推進

図書館は地域の情報拠点として、また、本を読んだり、本を通して調べものをしたりするなど、生涯学習の拠点としての役割を果たしています。

子どもたちに市立図書館の機能を活かした読書活動の推進を図るため、蔵書の充実や展示の工夫、ふるさと学習支援事業等を行います。

新たに児童生徒におすすめ本を紹介してもらうおすすめPOP事業や、パスファインダーをホームページに掲載することでより多くの方に活用いただくパスファインダーの充実事業を開始します。

また、子ども読書の日や読書週間、子どもための読書関連事業の実施、新たにこれらの事業のPR誌作成事業を開始するなど、市全体で子どもが利用しやすい図書館づくり、子どもも大人も楽しく読書する環境づくりを進めます。

【具体的な取り組みと内容】

施策・事業	内 容	実施主体
蔵書の充実と展示・配架の工夫	学習要求や課題に対応するため蔵書を充実し、適切に配架	図書館
おすすめPOP事業	一日図書館員や職場体験で児童、生徒がおススメ本のPOPを作成し、図書館で展示	図書館
レファレンスやパスファインダーの充実	読書や学習へのサポートを充実させ、読書への興味と関心を高める	図書館
	タブレットPCの館内貸出を実施	図書館
	保護者や関係者が活用できるよう、パスファインダーを検討	図書館
ふるさと学習支援事業	ふるさと網走に関する資料の展示等による紹介	図書館
幼稚園・保育園などとの連携	子ども向け行事を今後検討	図書館
こどもの読書週間や図書館まつりにおける子ども向け行事	こどもの読書週間に読書に親しむ機会を充実させ、読書活動啓発事業を開催	図書館
	図書館まつりの俳句・短歌大会など子ども参加型事業を開催	図書館
ボランティアと協力した読書の普及活動	図書館におけるよみきかせ会やイベントへのボランティアの協力	ボランティア団体・図書館
小・中学生向けPR誌事業	夏休み前などに図書館利用案内やおススメ図書を記載したチラシを作成、配布	学校・図書館
関係機関との連携による読書環境の整備	道立図書館、近隣図書館、大学との連携協力	図書館
地域分庫の整備	図書館から遠隔地に住む市民のため地域分庫を整備	図書館
デジタル化への対応	インターネット等の発達・普及による電子書籍や資料の電子化に向けた調査・研究	図書館